

ソ連政府に対する抗議文

本年9月1日未明、お前達の戦闘機はサハリン南西部で
お前達の領空を侵犯した大韓航空 HL-7442 機を撃墜
した。われわれは、その HL-7442 機搭乗者の遺族であり、
最愛の家族を一瞬にこゝろ虚殺された激しい怒りと、深く絶望
的な悲しみは、事件後4ヶ月を経たいまもなお、少くも薄らぐ
ことがない。

大韓航空機の大規模な領空侵犯についてはもとより
大韓航空がその責任を負わねばならぬが、非武装の
民間航空機を十分に確認（よ）ともせず、いきなりお前達が
ミサイルを発射したことは、明白な国際法上の不法行為で
あり、人道上断じて許すべからざる冷酷、残忍な蛮行である。
われわれは、この蛮行をいつまでも決して忘れず、お前達の
犯した人道上の大罪を、これから糾弾し続けるであろう。

お前達のこの中には、また「文明国民」としてのかけらの誇りが
あり、お前達の体の中には、また人間としてあたいかい血の
一滴でも流れてゐるのだ。あれば、事件の真相をこれ以上
ウソと欺瞞でぬり固めることなく、罪のない数多くの乗客を
虚殺した責任を率直に認め、犠牲者の霊と遺族の
前に謝罪せよ。

1983年12月24日

大韓航空機事故遺族会